



第 1762 回例会

平成 25 年 10 月 7 日 (月)

18 : 30～ 海南商工会議所 4F

お誕生日・ご結婚のお祝い

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング
4. ゲスト紹介

米山記念奨学生

アーマド・シャキル・ビン・アズミ 君

5. 出席報告

会員総数 51 名 出席者数 35 名
出席率 68.63% 前回修正出席率 72.55%

6. 会長スピーチ

皆さん今晩は。早いものでもう 10 月です。朝夕めつきり日が短くなっていますので、交通事故など起こさないように安全運転を心がけてください。

米山奨学生のアビルシャキル君ご苦労さまです。

さて、皆さんご承知の通り、国際ロータリー2640

地区内で色々議論になっています。この事について先般、当クラブの理事会において、本年度は地区大会のすべての行事に出席しないことに決まりましたので報告します。また、10月17日から19日まで（一部の方22日まで）台湾彰化ロータリークラブの例会を行ってきます。さらに、10月22日から25日までフィリピンのマンダウエ・イースト RC のロータリアンが来訪しますので会員の皆さんのご協力よろしくお願いします。このため、来週の例会が変更になります。10月21日（月）の例会を24日（木）19時より、この場所にて海南西ロータリークラブとの合同例会を開きます。

最後に今月は「職業奉仕月間・米山月間」になっていますので会員の皆様のご協力よろしくお願いします。

会長 小椋 孝一 君



7. 幹事報告

幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

海南RC 10月9日(水)→10月9日(水)

12:30～ うるわし館（職場例会）

有田2000RC 10月9日(水)→10月12日(土)

白木海岸清掃奉仕例会

10月23日(水)→10月26日(土)

地区大会

11月6日(水)→11月3日(日)～

一泊親睦例会

有田南RC 10月22日(火)→10月20日(日)

9:00 出発 天満天神繁昌亭
(親睦家族例会)

○休会のお知らせ

新宮RC 10月16日(水)

海南RC 10月30日(水)

和歌山城南RC 10月31日(木)

8. 米山奨学金の贈呈

アーマド・シャキル・ビン・アズミ 君



9. 閉会点鐘

次回例会

第 1762 回例会 平成 25 年 10 月 24 日 (月)

海南商工会議所 4F 18:30～

海南西 RC との合同例会

フィリピン・マンダウエ イースト RC 来訪

10月は職業奉仕・米山月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 SAA：重光 孝義



ニコニコ・BOX



Happy birthday!

10月のお祝い



◎会員誕生日

2日 魚谷 幸司君	5日 大江 久夫君
14日 小久保 好章君	14日 千賀 知起君
26日 谷脇 良樹君	

◎奥様・旦那様誕生日

3日 山東 久枝様	19日 角谷みゆき様
20日 岩井 まり子様	24日 瀬藤 憲康様

◎結婚記念日

19日 木地 義和君	19日 上中 嗣郎君
24日 山東 剛一君	25日 荻野 昭裕君
30日 塩崎 博司君	31日 千賀 知起君

◎一般ニコニコ

林 孝次郎君 大峰山へ行きました。
 桑添 剛君 国際関係の連絡（台湾・彰化東南
 R C訪問、とフィリピン マン
 ダウェ・イースト RC来訪の件）
 小椋 孝一君 10月5日に第9回海南省美術展
 において写真の部で海南省長賞
 を頂きました。
 朝井 修君 小椋会長さん市長賞おめでとう
 ございます。
 阪口 洋一君 10月3日にシャキル君が田辺ロ
 ータリーで卓話に呼ばれており
 ましたので、一緒に行って来まし
 た。
 大谷 徹君 シャキル君 本日はご苦労様で
 す。

カラグアでの橋の建設、コスタリカでの教室建設などがあり、どれをとっても、水と衛生の設備を整えることが常に重要な要素となります。「ここ中南米では、水は本当に貴重なものです」とリッジオさんは述べます。



2011年4月、B3のプロジェクトで高校生たちとともにティンゴプカラを訪れたリッジオさんは、平和部隊や「国境なき技師団」と協力して、村に水を引くためのパイプラインを建設しました。標高約3,800メートルのこの村から一番近い水源は、険しい山道を約1.5キロメートル下ったところにあり、水や耕作地の不足から、この村の男性たちはふもとの村まで働きに出るしかありません。このプロジェクトが実施される前、残された女性たちは、料理や洗濯用の水や飲み水を遠く離れた水源から運ばなければなりませんでした。エンジニアが設計したポンプシステムを、リッジオさんと高校生らのチーム、そして現地の人たちが協力して設置した結果、今では、村人たちが水道を常時利用できるようになりました。

リッジオさんの妻、エイミーさんもこの活動にかかわっています。彼女は次のように話します。「水プロジェクトでは、子どもたちは最後の最後になるまで、達成感を味わうことはできません。パイプを地中に埋めてしまうので、『完成物』が見えないからです。でも、大変な作業の後、蛇口をひねってあふれ出す水を見ると、子どもたちは歓喜で沸き返り、泣き出す子もいます。本当に感動的な瞬間です」

平和部隊とロータリーの世界的ネットワークを駆使した活動を通じて、ロータリーの信頼性と評判が高まり、ほかの団体との関係が築きやすくなったり、リッジオさんは言います。2008年には、B3のチームがグアテマラのロータリークラブと協力し、現地に聴覚障害者の学校を建てました。今年はさらに、ガイアナのジョージタウン・ロータリークラブと協力して、コミュニケーションセンターと橋を含む5つの建設プロジェクトを実施する予定です。

エイミーさんは次のように語ります。「こうした活動は、世界を動かしています。そして、その中心にいるのが高校生たちです。これらのプロジェクトを通じて、彼らは人間として成長し、リーダーシップの力を養っています。これこそ、ロータリーらしい活動だと思います」



国際ロータリー ニュース

中南米での水プロジェクトでロータリアンと高校生が協力

エクアドル中部、岩だらけの山にあるティンゴプカラ村。インスピレーションが沸く場所とはとても言えないこの地で、トニー・リッジオさんはカメラを手に熱心に写真を撮っています。彼が写真に収めようとしているのは、ロータリアン会員と高校生たちが汗を流して取り組んだ水プロジェクトです。

ウェストポート・ロータリークラブ会員であるリッジオさんは、これまで何度も、中南米への青少年の遠征旅行を引率してきました。そのきっかけは、2001年、米国コネチカット州に本部を置く非営利団体、「国境なき建築者団」(Builder Beyond Borders=B3)のプログラムに彼の娘が参加したことでした。彼が引率した高校生たちが参加したプロジェクトには、ドミニカ共和国のハリケーン被災者のための簡易住宅建設、ニ